

## 決算補足説明資料

# 2024年度 第2四半期 業績概要

### 注意事項

- 2024年度より、これまでシステムエンジニアリング事業に含めていた太陽光発電用パワーコンディショナ関連の情報を、モーションコントロール事業に移行するセグメント区分の見直しを行います。これにより、2024年度の数値は変更後の情報に組み替えた上で算出しています。なお、2023年度の数値についても変更後の情報にて表示しています。（P21参照）
- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合があります。
- 本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2024年3月1日～2024年8月31日)

## 1. 2024年度 上期 連結業績

- 2024年度 上期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上収益構成比
- 所在地別売上収益, 構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2024年度 上期における取り組み

## 2. 2024年度 通期 連結業績見通し

- 2024年度 通期 見通し
- 営業利益増減要因分析
- 2024年度 下期における取り組み
- 株主還元（配当金推移）

## 3. 参考資料

- セグメント区分変更による組替表示
- 設備投資・研究開発費, 為替レート・感応度
- B/S 構造の推移
- 売上収益・営業利益推移
- 四半期売上収益推移
- 四半期受注推移

# セグメント別事業概要

## モーションコントロール

### 【主要製品】

- ・ ACサーボモータ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ
- ・ PMモータ



## ロボット

### 【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
  - アーク・スポット溶接・塗装用途向け
  - FPD搬送・ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオメディカル用途向けロボット
- ・ 人協働ロボット



## システム エンジニアリング

### 【主要製品】

- ・ 鉄鋼プラント用電機システム
  - ・ 上下水道用電気計装システム
- など



## その他

- ・ 物流サービス

など

## 1. 2024年度 上期 連結業績

# 2024年度 上期 実績

- ・ 高水準な受注残に支えられた前年同期に比べ減収
- ・ 間接費を抑制も、売上減少に伴う利益減の影響を大きく受け減益

	2024年度 上期 実績	2023年度 上期 実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上収益	2,616億円	2,890億円	▲274億円	▲9.5%
営業利益	229億円	331億円	▲101億円	▲30.7%
税引前利益	244億円	345億円	▲101億円	▲29.3%
親会社の所有者に帰属する 中間利益	179億円	242億円	▲64億円	▲26.3%

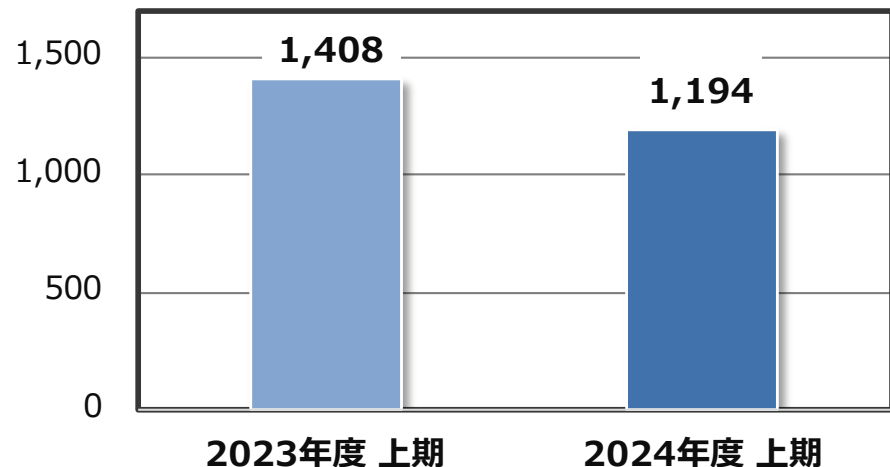
## 2024年度 上期 実績（セグメント別）

- ・ モーションコントロールはACサーボを中心に売上減の影響を大きく受け減益
- ・ ロボットは自動車市場や一般産業分野の底堅い需要が寄与も、中国の投資抑制により若干の減収。先行投資や売上減の影響などにより減益

	2024年度 上期		2023年度 上期		前年同期比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
<b>売上収益</b>	<b>2,616</b>		<b>2,890</b>		<b>▲274</b>	<b>▲9.5%</b>
モーションコントロール	1,194		1,408		▲213	▲15.1%
ロボット	1,121		1,124		▲3	▲0.2%
システムエンジニアリング	186		231		▲45	▲19.3%
その他	115		128		▲14	▲10.6%
<b>営業利益</b>	<b>229</b>	<b>8.8%</b>	<b>331</b>	<b>11.4%</b>	<b>▲101</b>	<b>▲30.7%</b>
モーションコントロール	110	9.2%	202	14.4%	▲92	▲45.5%
ロボット	106	9.5%	130	11.6%	▲24	▲18.5%
システムエンジニアリング	19	10.1%	14	6.0%	+5	+34.4%
その他	8	7.3%	0	0.1%	+8	-
消去または全社	▲14	-	▲15	-	+2	-

# 主要事業の概要 モーションコントロール

売上収益(億円)



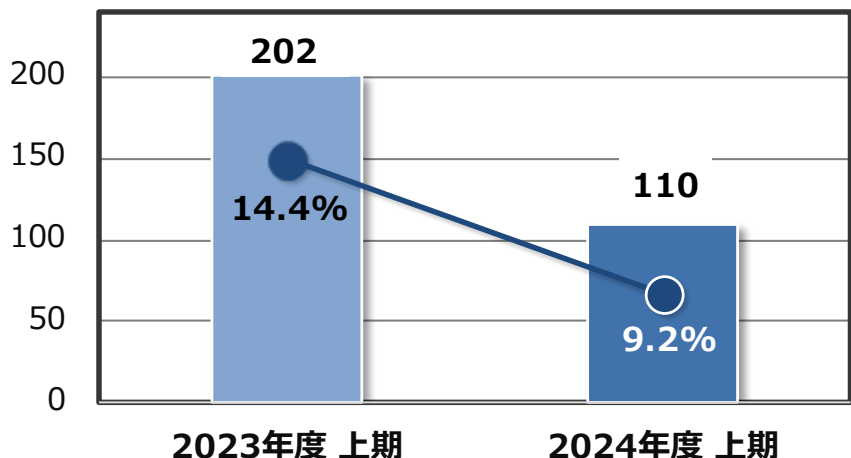
## 【売上収益】

- ACサーボは中国・欧州市場の低迷や、日本における半導体関連需要の回復遅延などの影響を受け減収
- インバータはデータセンタ関連の需要やアセアン各国・インドにおけるインフラ関連需要は底堅く推移も、在庫調整等の影響を受け減収

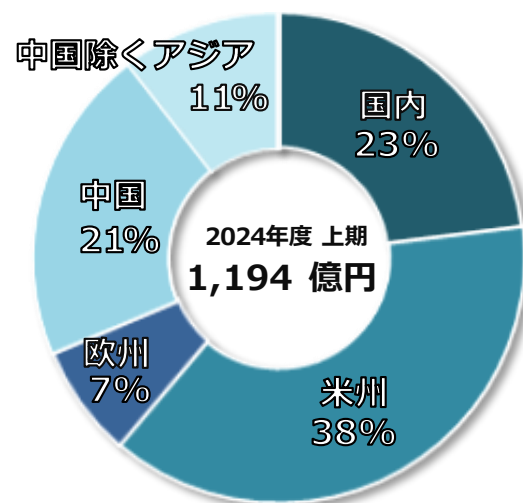
## 【営業利益】

- 経費の抑制、付加価値の改善は進んだものの、売上減少に伴う利益減の影響を大きく受け減益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

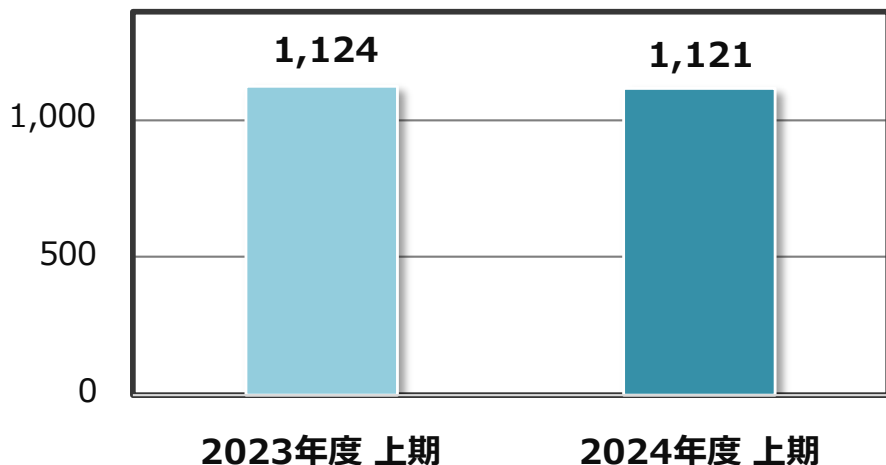


所在地別売上収益構成比



# 主要事業の概要 ロボット

### 売上収益(億円)



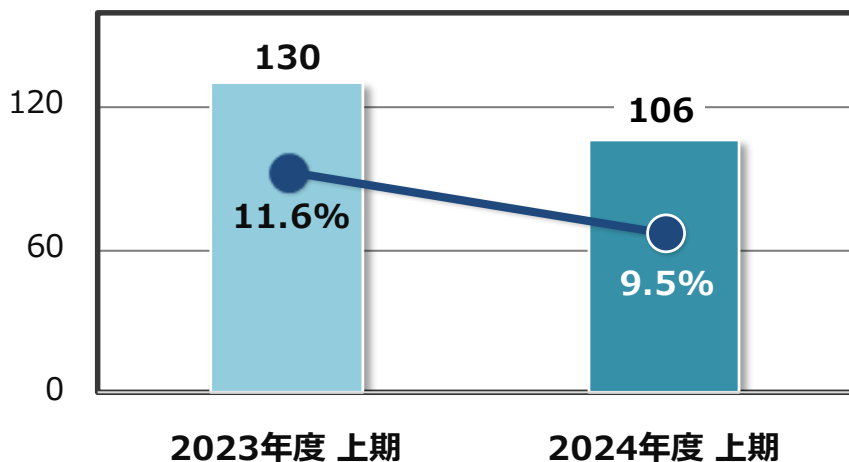
### 【売上収益】

- 自動車市場では、日本や欧米、インドなどで需要が増加
- 一般産業分野では、米国や中国において自動化需要が底堅く推移
- 中国の自動車市場における投資抑制の影響を受け、若干の減収

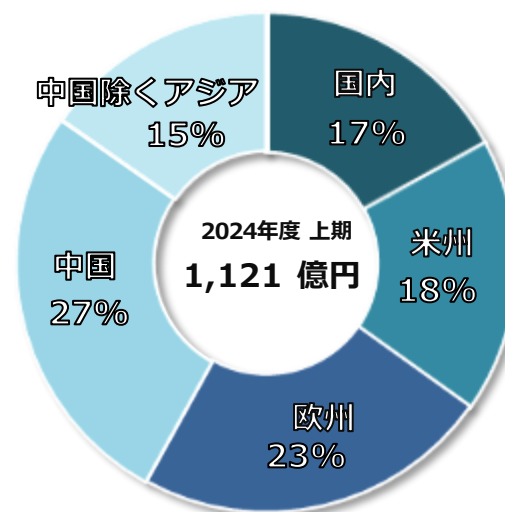
### 【営業利益】

- システム対応力強化に向けた先行投資や、売上減少に伴う利益減の影響などにより減益

### 営業利益(億円)・営業利益率(%)



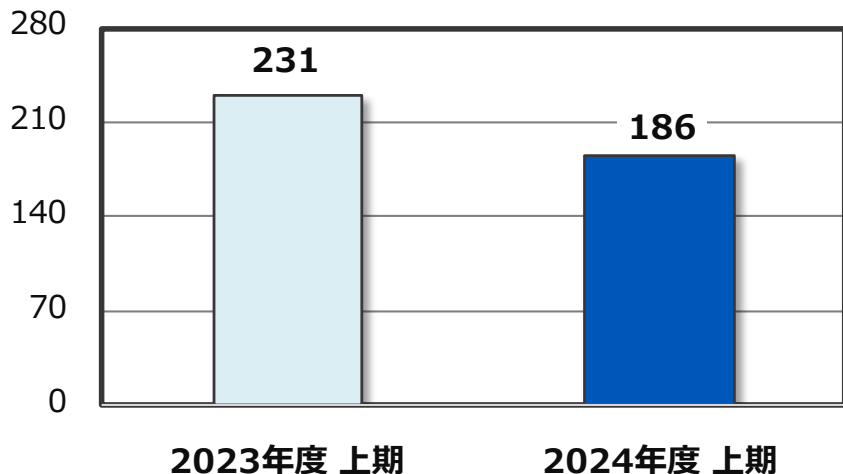
### 所在地別売上収益構成比





# 主要事業の概要 システムエンジニアリング

### 売上収益(億円)



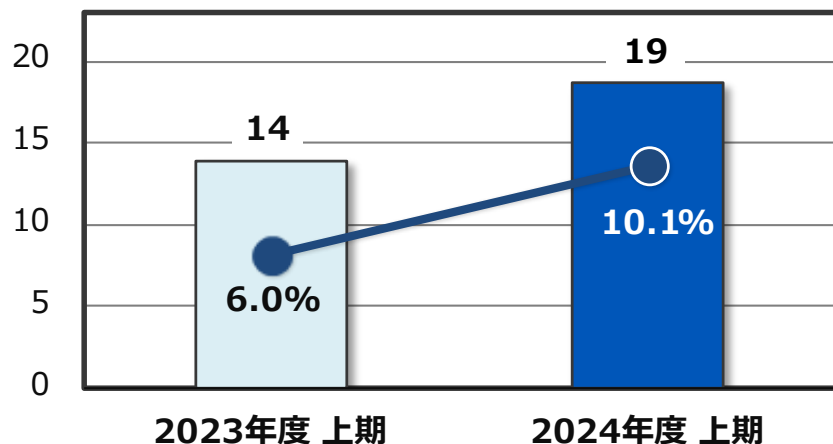
### 【売上収益】

- 港湾クレーン関連の販売が堅調に推移も、前年度下期の大型風力発電関連の子会社売却影響により減収

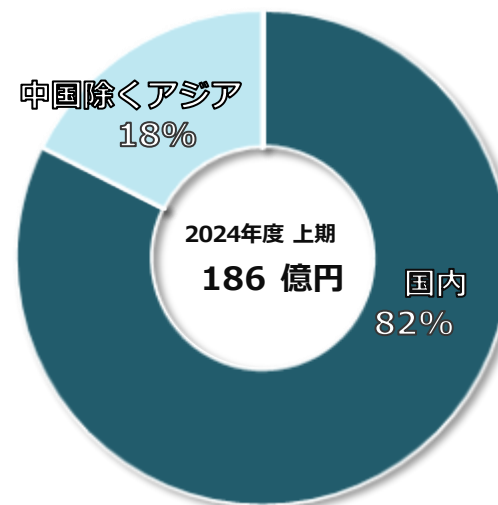
### 【営業利益】

- 主力の鉄鋼・クレーンなどの売上増加に加え、事業構造改革の効果などにより増益

### 営業利益(億円)・営業利益率(%)

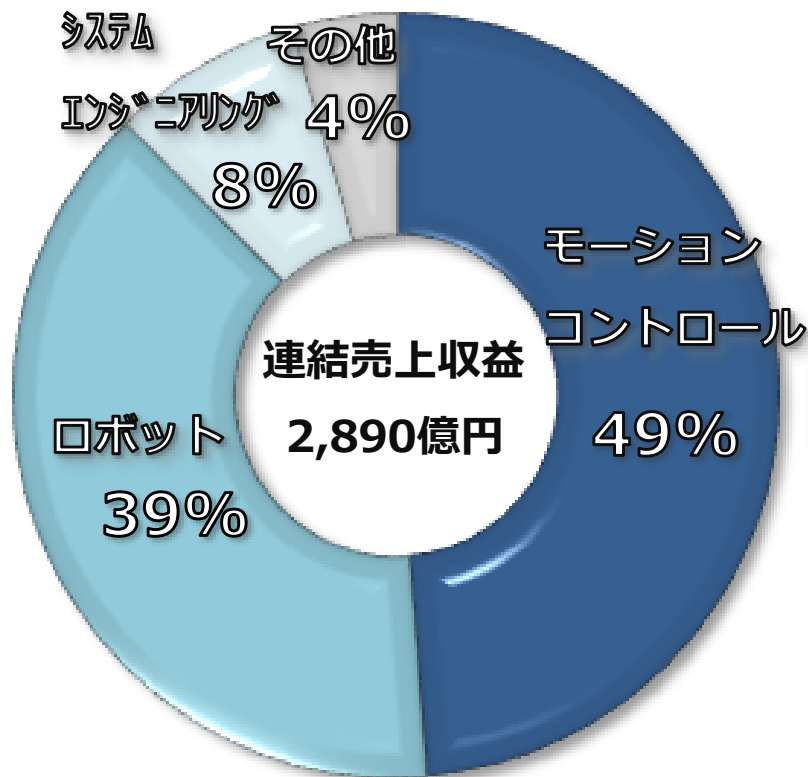


### 所在地別売上収益構成比

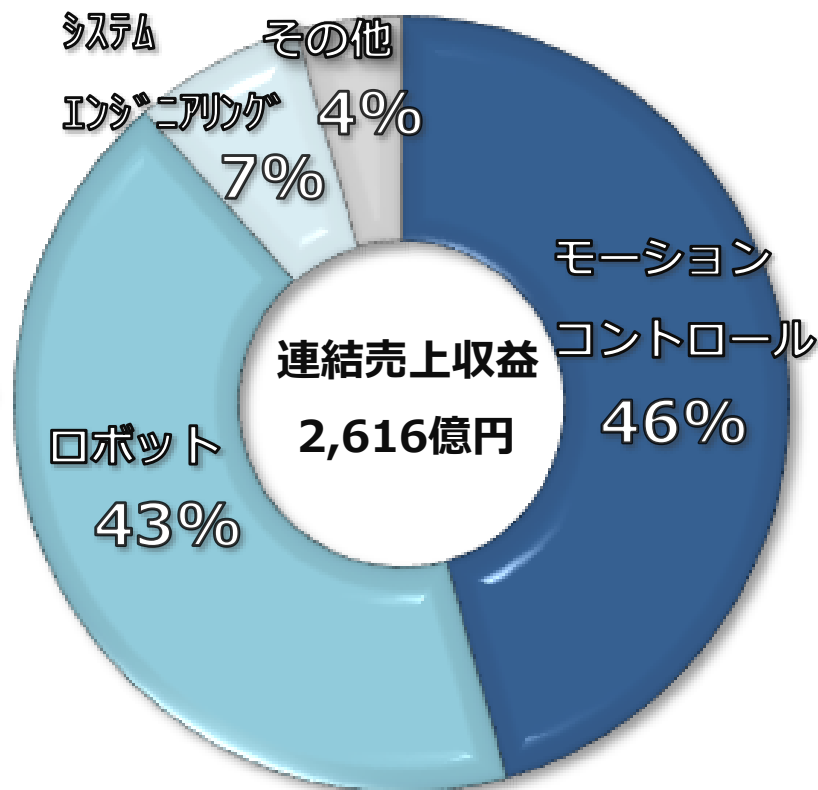


# 事業セグメント別売上収益構成比

## 2023年度 上期



## 2024年度 上期



## 所在地別売上収益

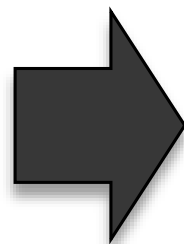
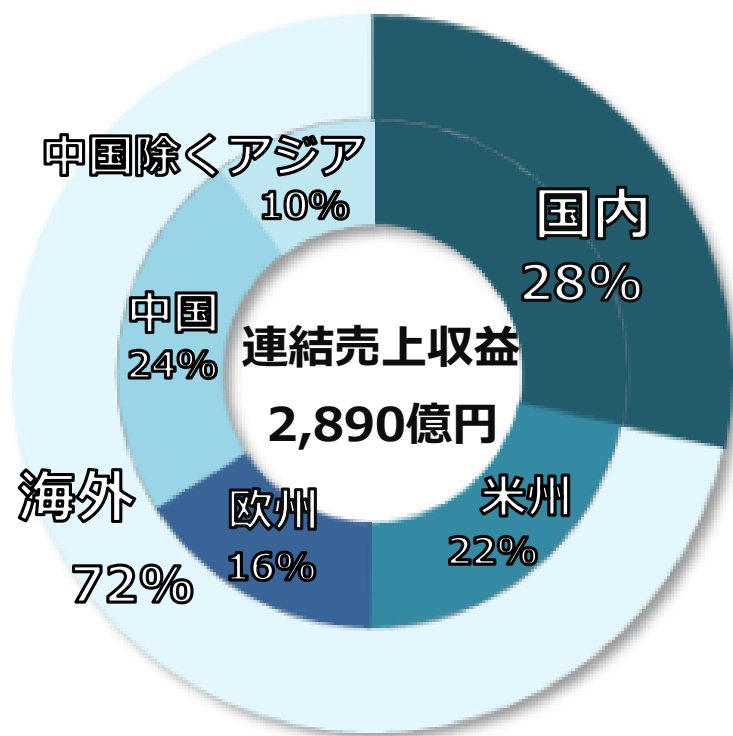
・米州・中国除くアジア以外の地域は減収

(単位：億円)	2024年度	2023年度	前年同期比	
	上期実績	上期実績	増減額	増減率
売上収益	2,616	2,890	▲274	▲9.5%
国内	715	818	▲103	▲12.6%
海外	1,901	2,072	▲171	▲8.2%
米州	659	636	+23	+3.6%
欧州	348	458	▲110	▲24.0%
中国	564	687	▲122	▲17.8%
中国除くアジア	330	292	+38	+13.1%

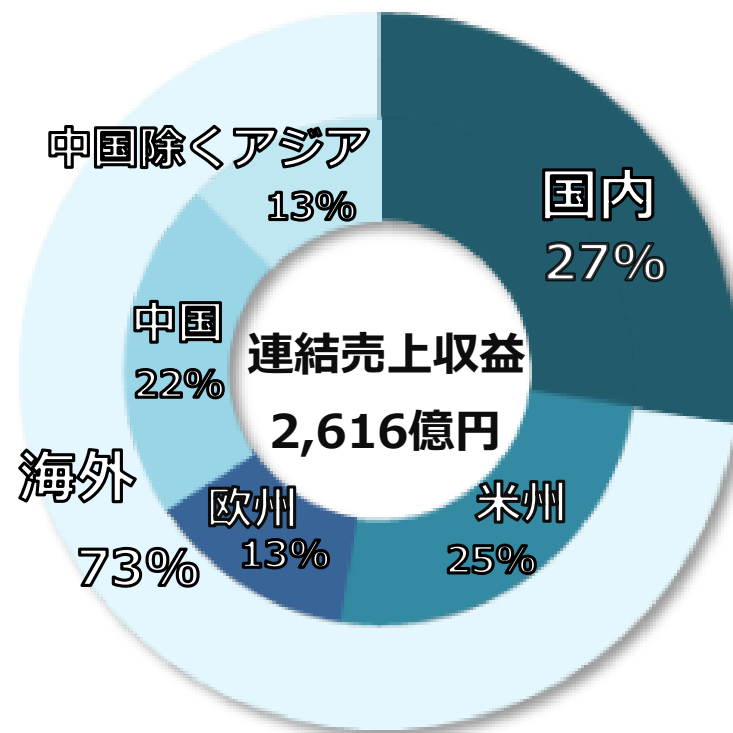
[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

# 所在地別売上収益構成比

## 2023年度 上期



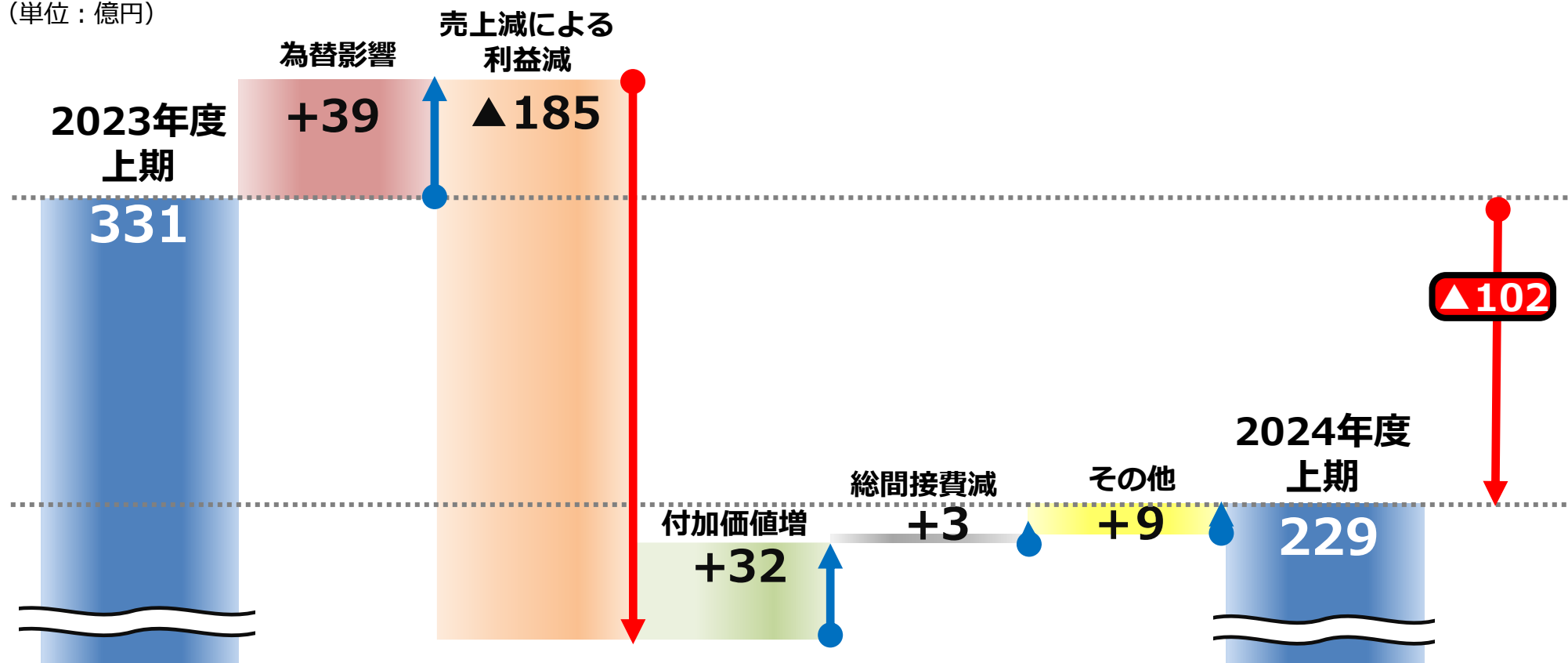
## 2024年度 上期



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

# 営業利益増減要因分析（2023年度 上期 → 2024年度 上期）

（単位：億円）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	+ 17	▲ 151	+ 26	+ 17	▲ 0
ロボット	+ 22	▲ 40	▲ 1	▲ 7	+ 1
システムエンジニアリング	+ 0	+ 9	▲ 1	▲ 3	▲ 1
その他	+ 0	▲ 3	+ 8	▲ 4	+ 9

## 2024年度 上期の取り組み

### ➤ “i<sup>3</sup>-Mechatronics”ソリューションによる価値創出

#### ➔ 生産力の強化

- ロボット第1工場にMOTOMAN NEXTを導入し、自動化やデータ活用による生産性改善を実現（シザーズギア<sup>※1</sup>組立工程）
- 欧州地域でのロボット生産体制の強化を決定（スロベニア）
  - ・ ロボットシステム工場の移転拡張
  - ・ ERDC(EMEA ロボティクス ディストリビューションセンター)の新設

#### ➔ 販売力の強化

- ・ 自動車関連市場で多用されるジェイテクト製PLCとの親和性を高めた新マシンコントローラ「MPX1012J」を発売開始
- ・ 「FOOMA JAPAN 2024<sup>※2</sup>」に出展し、MOTOMAN NEXTや食品仕様ロボットを活用した食品製造の自動化とデータ活用の価値を訴求

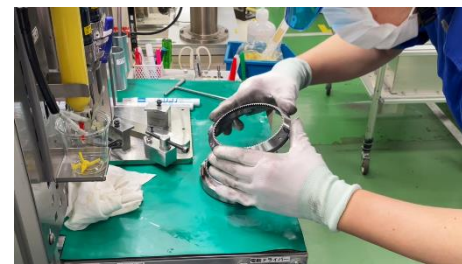
### ➤ メカトロニクス応用領域の事業拡大によるサステナブルな社会実現への貢献

- ・ アステラス製薬とバイオ向け双腕ロボット「まほろ」を活用した革新的な細胞医療プラットフォームの構築に向けた覚書を締結

<https://www.yaskawa.co.jp/newsrelease/news/1223302>

※1 騒音抑制とスムーズな動力伝達を目的として使用されるギヤ。ギヤの間の隙間をなくすることでガタつきを抑え、振動や騒音を低減させる仕組み。

※2 一般社団法人日本食品機械工業会が主催する、食品製造に関わる製品・ソリューションの展示会



シザーズギア組立工程  
Before/After



マシンコントローラ  
「MPX1012J」

## 2. 2024年度 通期 連結業績見通し

## 2024年度 通期 見通し

- ・半導体市場の立上りが緩やかであり、中国市場の回復が弱いことから売上収益・営業利益を下方修正
- ・持分法適用関連会社の一部株式譲渡に伴う株式譲渡益等により税引前利益・当期利益を上方修正

	2024年度 見通し	2023年度 実績	前年同期比		2024年度 前回見通し※
			増減額	増減率	
売上収益	5,530億円	5,757億円	▲227億円	▲3.9%	5,800億円
営業利益	640億円	662億円	▲22億円	▲3.4%	700億円
税引前利益	898億円	691億円	+207億円	+30.0%	740億円
親会社株主に帰属する 当期利益	640億円	507億円	+133億円	+26.3%	540億円

※2024年4月5日 FY23 4Q決算発表時



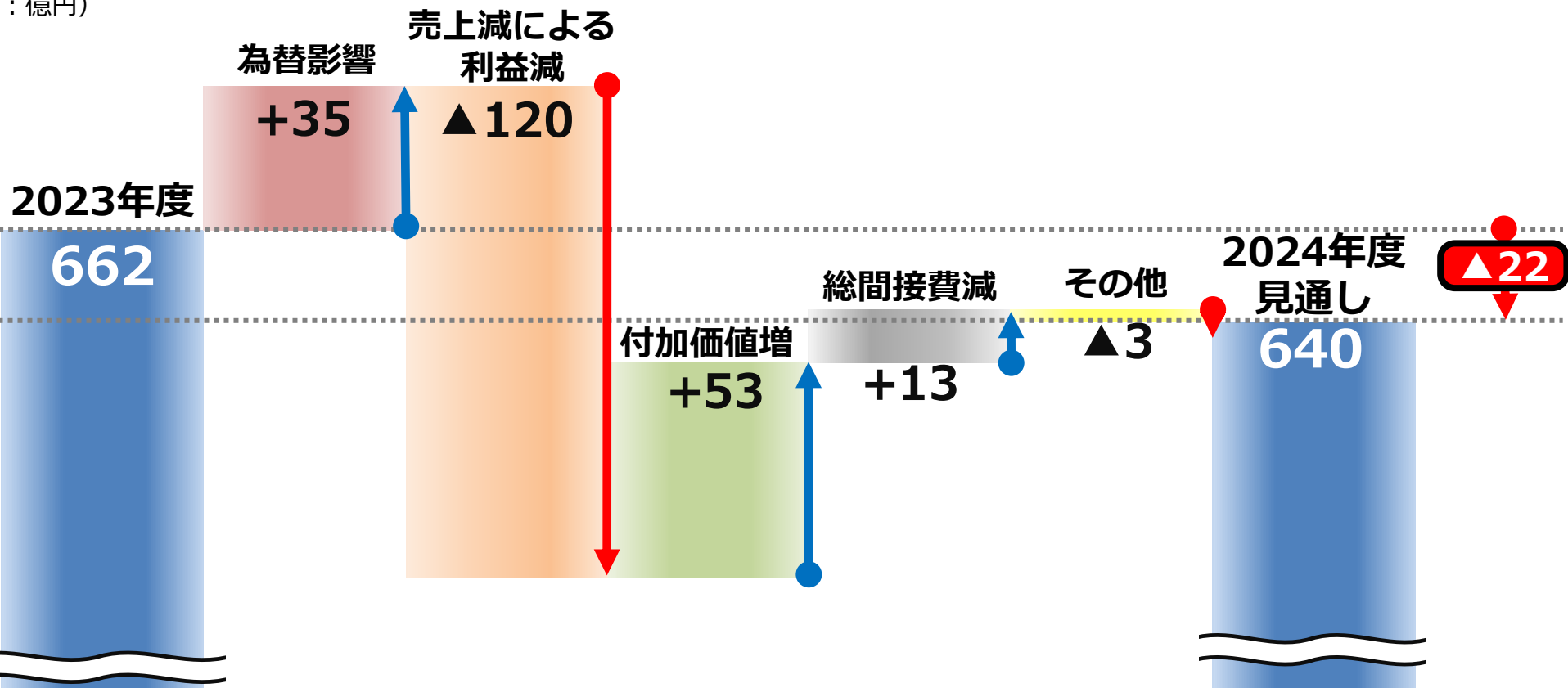
# 2024年度 通期 見通し (セグメント別)

	2024年度		2023年度		前年同期比		2024年度	
	見通し	利益率	実績	利益率	増減額	増減率	前回見通し※	利益率
(単位：億円)								
<b>売上収益</b>	5,530		5,757		▲227	▲3.9%	5,800	
<b>モーションコントロール</b>	2,492		2,694		▲202	▲7.5%	2,688	
<b>ロボット</b>	2,405		2,347		+58	+2.5%	2,451	
<b>システムエンジニアリング</b>	385		461		▲76	▲16.4%	398	
<b>その他</b>	248		255		▲7	▲2.7%	263	
<b>営業利益</b>	640	11.6%	662	11.5%	▲22	▲3.4%	700	12.1%
<b>モーションコントロール</b>	317	12.7%	390	14.5%	▲73	▲18.7%	369	13.7%
<b>ロボット</b>	291	12.1%	251	10.7%	+40	+15.9%	300	12.2%
<b>システムエンジニアリング</b>	44	11.5%	49	10.5%	▲4	▲8.6%	56	14.0%
<b>その他</b>	19	7.7%	4	1.6%	+15	+356.7%	5	1.9%
<b>消去または全社</b>	▲32	-	▲32	-	+0	-	▲30	-

※2024年4月5日 FY23 4Q決算発表時

# 営業利益増減要因分析（2023年度 → 2024年度見通し）

（単位：億円）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	+ 14	▲ 143	+ 34	+ 25	▲ 3
ロボット	+ 21	+ 13	+ 8	▲ 6	+ 5
システムエンジニアリング	+ 0	+ 15	▲ 2	▲ 3	▲ 15
その他	+ 0	▲ 5	+ 13	▲ 3	+ 10

## 2024年度 下期の取り組み

### ▶ “i<sup>3</sup>-Mechatronics”ソリューションによる価値創出

#### → 生産力の強化

- ・ YRMコントローラやMOTOMAN NEXT等を活用した自社工場における自動化・省人化・内製化の推進と海外生産拠点への展開

#### → 販売力の強化

- ・ シカゴ(米国)にて「IMTS 2024<sup>※1</sup>」に出展、iC9000シリーズ<sup>※2</sup>を北米市場に訴求し新規顧客を開拓
- ・ 食品や医療分野におけるMOTOMAN NEXT導入事例の積み上げと横展開
- ・ インド市場(HVAC、オイル・ガス等)におけるインバータの拡販加速

### ▶ メカトロクス応用領域の事業拡大による サステナブルな社会実現への貢献

- ・ バイオメディカル向けロボット「まほろ」のソリューション展開による細胞研究開発・製造支援サービスの拡大加速

※1 International Manufacturing Technology Showの略。

The Association For Manufacturing Technologyが主催する2年に1度のオートメーション・スマート生産ソリューションの展示会

※2 i<sup>3</sup>-Mechatronicsを実現するコントローラソリューション「iCube Control」に属する欧米向けのコントローラ



YRMコントローラが導入された  
子社工場の生産ラインの様子



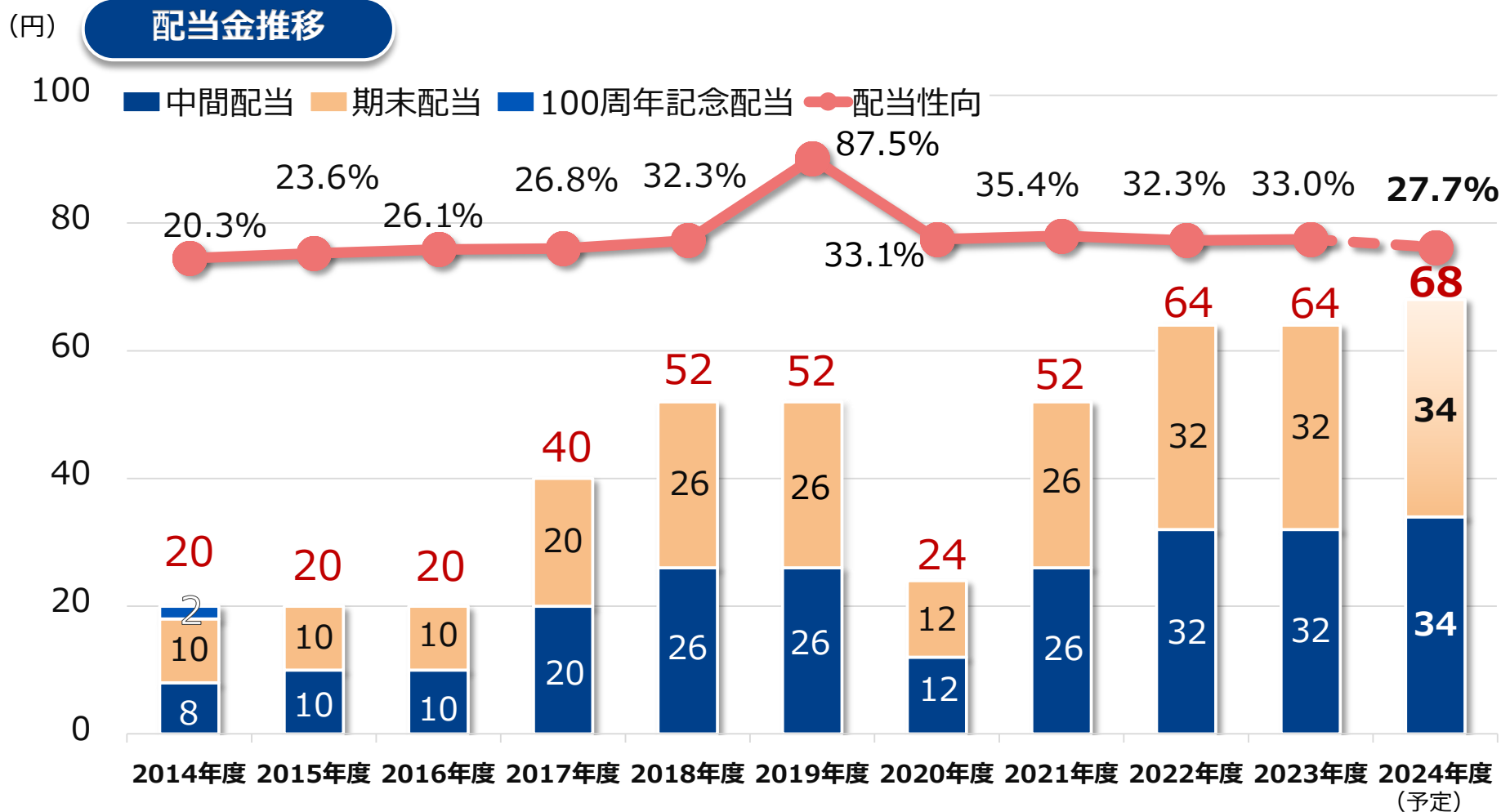
IMTS 2024 iCube Control  
ローンチイベントの様子



バイオメディカル向け  
双腕ロボット「まほろ」

# 株主還元（配当金推移）

- 自己株式250万株（最大125億円）の取得を実施
- 2024年度は前年度から4円増配となる、一株当たり年間68円/株を予定（総還元性向47.3%）



## 3. 参考資料

## セグメント区分変更による組替表示（2023年度実績）

- 2024年度より従来システムエンジニアリング事業に含めていた太陽光発電用パワーコンディショナ関連の情報を、モーションコントロール事業に移行する**セグメント区分の見直し**を実施
- 2024年度・2023年度の数值は、セグメント変更後の情報にて表示

	2023年度（セグメント変更後）							変更 影響額 (通期)	
	(単位：億円)	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期		通期
<b>売上高</b>		1,425	1,465	<b>2,890</b>	1,354	1,513	<b>2,867</b>	<b>5,757</b>	-
モーションコントロール		716	691	<b>1,408</b>	638	649	<b>1,287</b>	<b>2,694</b>	<b>+94</b>
ロボット		528	596	<b>1,124</b>	546	677	<b>1,223</b>	<b>2,347</b>	-
システムエンジニアリング		123	108	<b>231</b>	107	123	<b>230</b>	<b>461</b>	<b>▲94</b>
その他		58	70	<b>128</b>	63	63	<b>127</b>	<b>255</b>	-
<b>営業利益</b>		164	166	<b>331</b>	135	197	<b>332</b>	<b>662</b>	-
モーションコントロール		98	104	<b>202</b>	84	104	<b>188</b>	<b>390</b>	<b>+8</b>
ロボット		62	68	<b>130</b>	56	66	<b>122</b>	<b>251</b>	-
システムエンジニアリング		10	4	<b>14</b>	2	33	<b>35</b>	<b>49</b>	<b>▲8</b>
その他		▲0	0	<b>0</b>	1	3	<b>4</b>	<b>4</b>	-
消去または全社		▲6	▲10	<b>▲15</b>	▲7	▲9	<b>▲16</b>	<b>▲32</b>	-

# 設備投資・研究開発費, 為替レート・感応度

## 設備投資・研究開発費の状況

(単位: 億円)

	2022年度 (実績)	2023年度 (実績)	2024年度 (計画)
設備投資額	276.1	378.6	450.0
減価償却費	196.7	208.0	220.0
研究開発投資	187.8	212.5	240.0

## 為替レート

※ 為替レートは、期中平均レートを記載

(単位: 円)

	2022年度 (実績)			2023年度 (実績)			2024年度 (想定)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期(実績)	下期	通期
対 米ドル	129.9	138.6	134.1	138.8	147.9	143.2	153.7	145.0	149.3
対 ユーロ	136.8	143.0	139.8	151.0	159.3	155.1	166.6	155.0	160.8
対 元	19.59	19.77	19.68	19.61	20.44	20.02	21.23	20.00	20.62
対 ウォン	0.102	0.104	0.103	0.106	0.112	0.109	0.113	0.110	0.111

## 為替感応度

(単位: 億円)

	1%変動による影響額目安 (2024年度_通期)	
	売上収益	営業利益
米ドル	13.7	2.3
ユーロ	7.3	1.2
元	11.4	2.9
ウォン	4.1	2.1

# B/S構造の推移

## 2024年2月29日時点

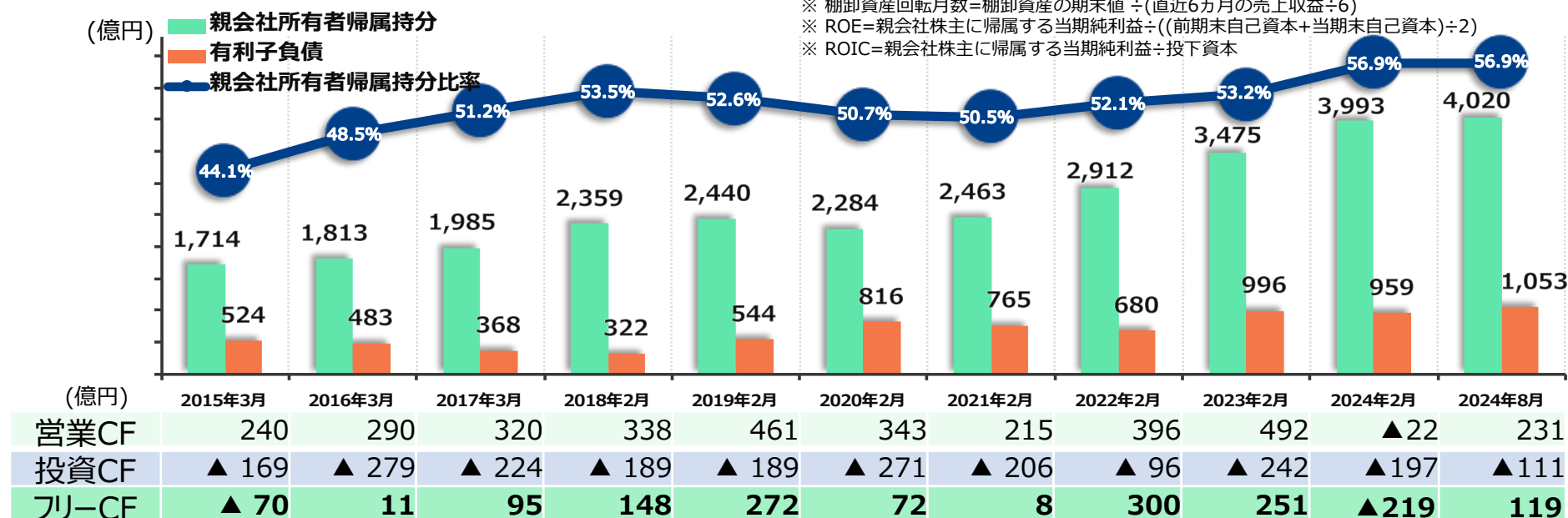
- 親会社所有者帰属持分比率 56.9%
- 親会社所有者帰属持分 3,993億円
- 有利子負債 959億円
- D/Eレシオ 0.24  
(ネットD/Eレシオ) 0.14
- 棚卸資産 2,079億円  
(回転月数) (4.4ヶ月)
- ROE 13.6%
- ROIC 11.8%

## 2024年8月31日時点

- 親会社所有者帰属持分比率 56.9%
- 親会社所有者帰属持分 4,020億円
- 有利子負債 1,053億円
- D/Eレシオ 0.26  
(ネットD/Eレシオ) 0.13
- 棚卸資産 2,126億円  
(回転月数) (4.9ヶ月)



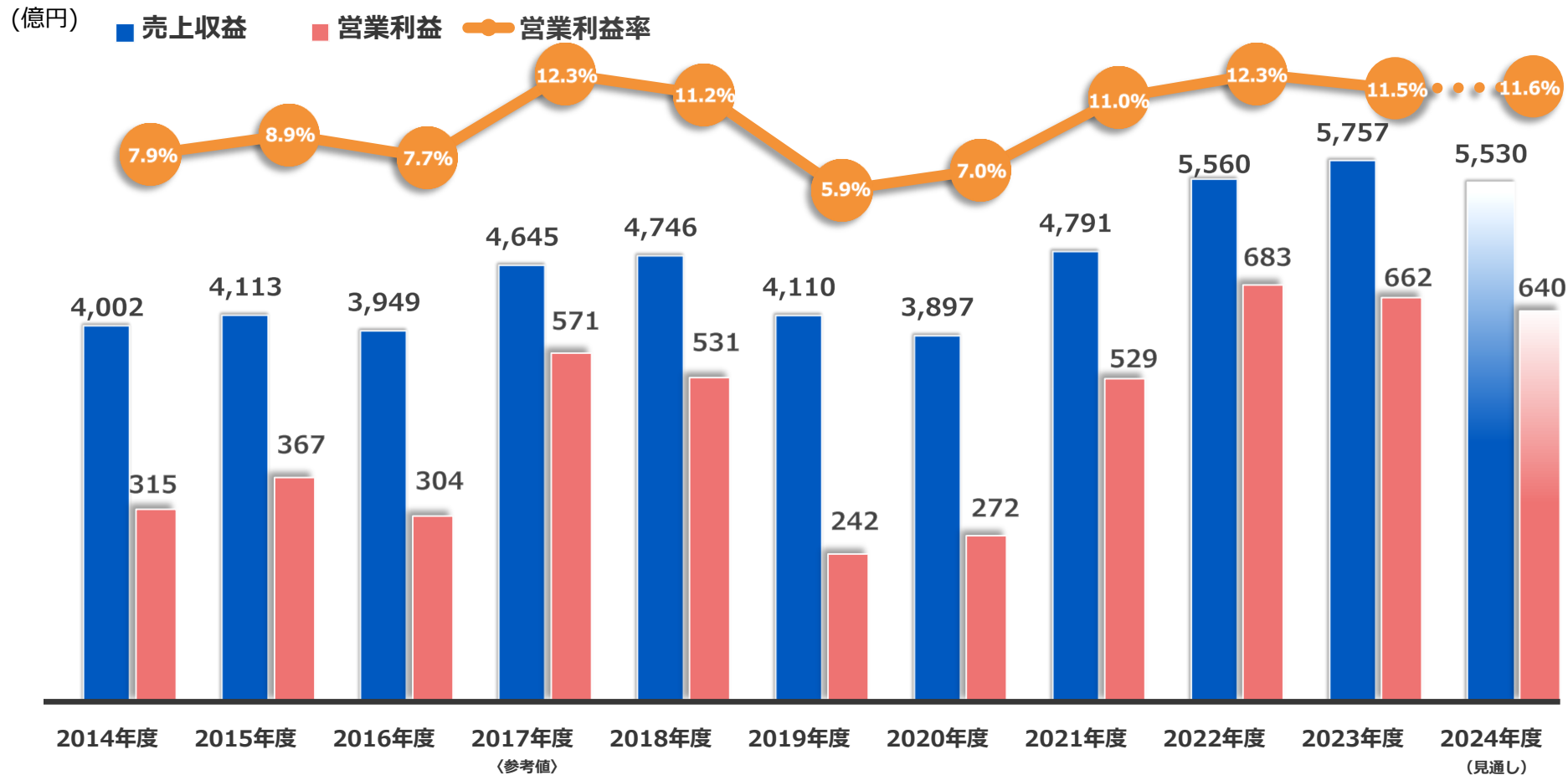
※ 有利子負債はリース債務を含む  
 ※ 棚卸資産回転月数=棚卸資産の期末値 ÷ (直近6カ月の売上収益÷6)  
 ※ ROE=親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ ((前期末自己資本+当期末自己資本)÷2)  
 ※ ROIC=親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 投下資本



[注] 2018年2月までのデータは日本基準にて記載



# 売上収益・営業利益推移（2014年度～2024年度見通し）



Realize 100
Dash 25
Challenge 25 Plus
Realize 25

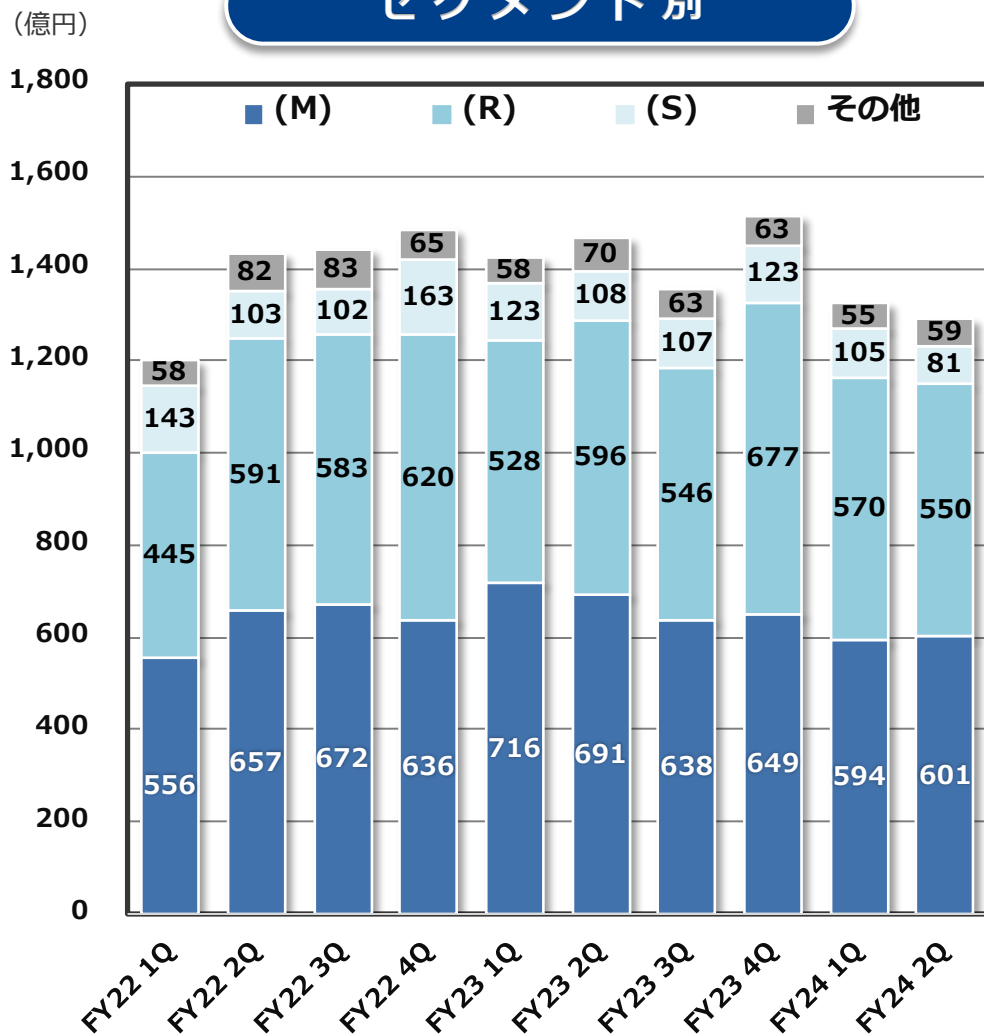
**中期経営計画**

[注1] 2017年度までのデータは日本基準にて記載

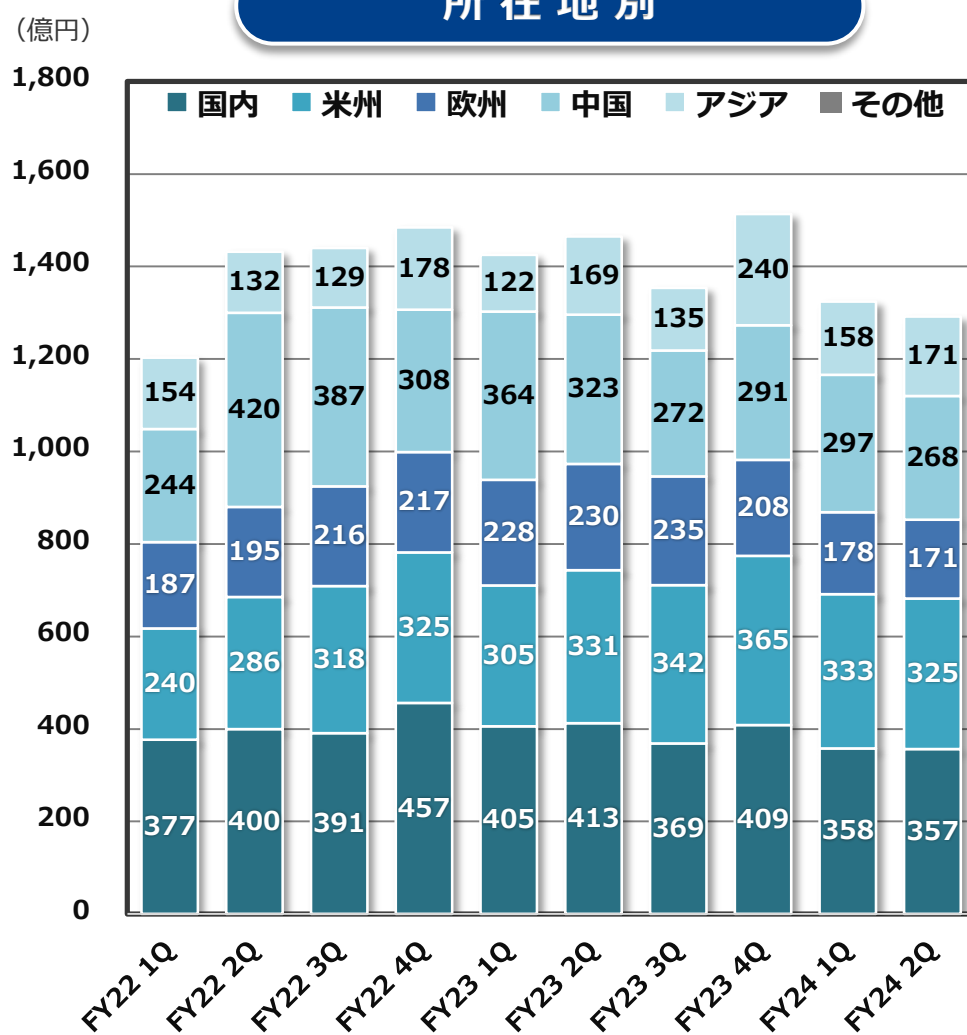
[注2] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

# 四半期売上収益推移

## セグメント別



## 所在地別



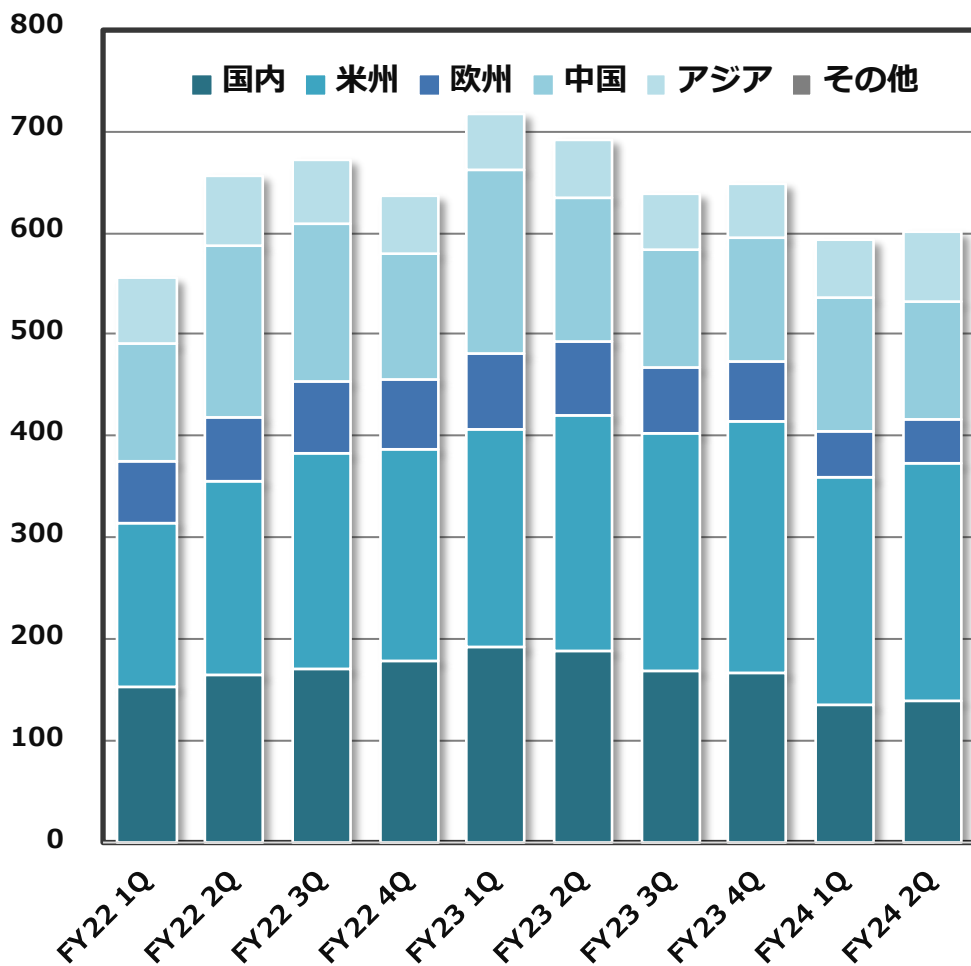
[注. 1] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

[注. 2] FY22のデータは、セグメント区分見直し前の数値を使用

# 四半期売上収益推移

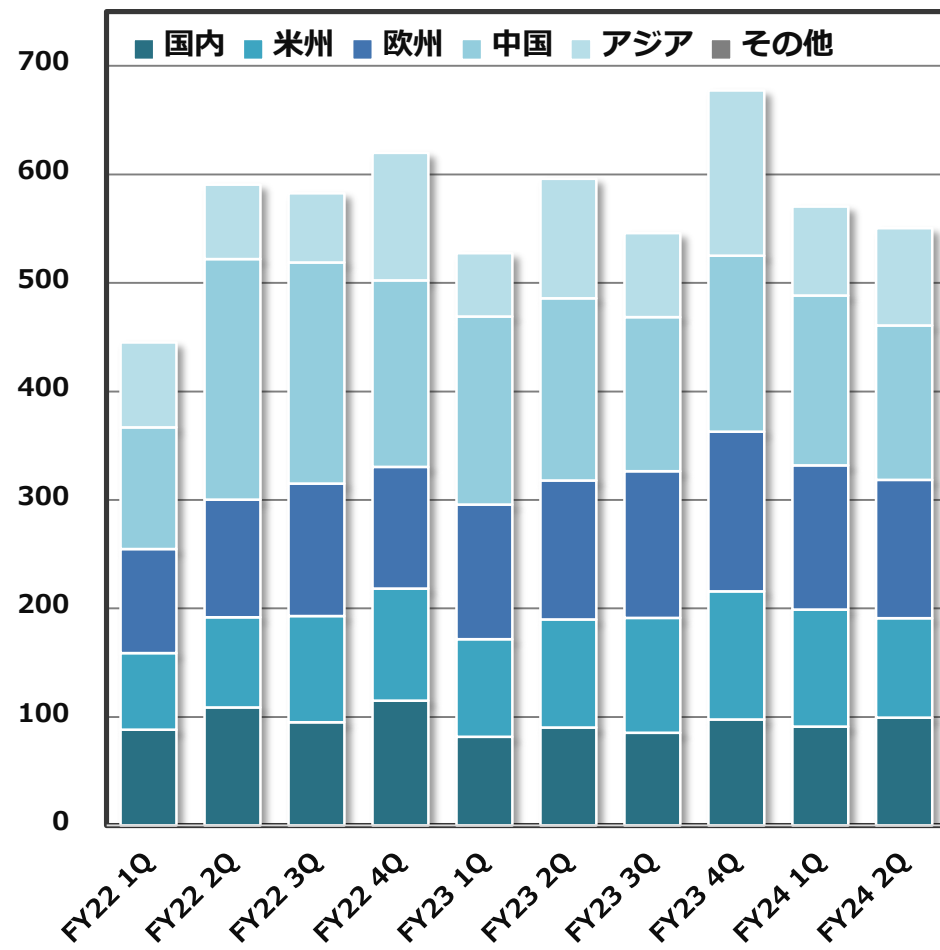
## モーションコントロール

(億円)



## ロボット

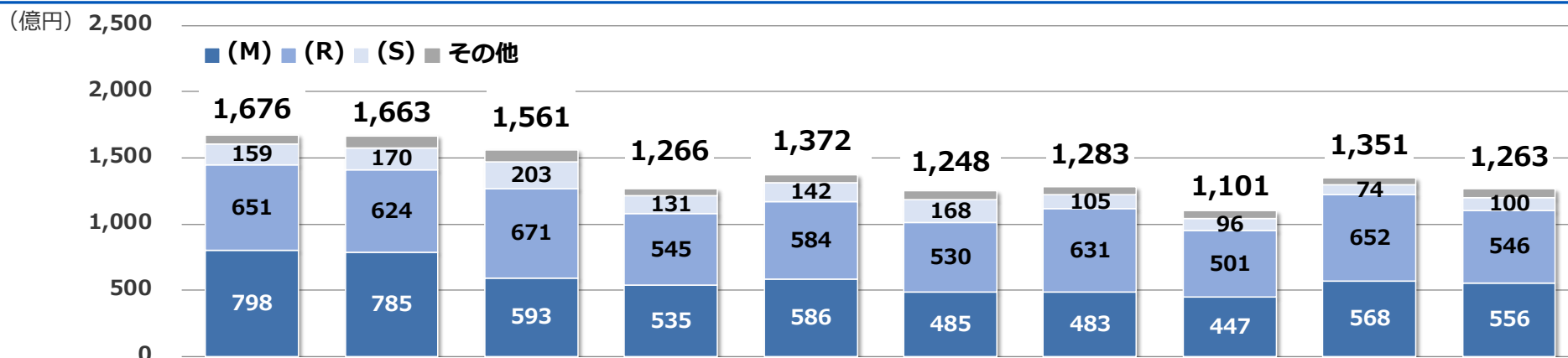
(億円)



[注] FY22のデータは、セグメント区分見直し前の数値を使用

# 四半期受注推移 (セグメント別)

※為替は期中平均レートを使用



会社	YoY	FY2022				FY2023				FY2024	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
全社	YoY	+21%	+21%	+9%	▲17%	▲18%	▲25%	▲18%	▲13%	▲1%	+1%
	QoQ	+10%	▲1%	▲6%	▲19%	+8%	▲9%	+3%	▲14%	+23%	▲7%

YoY	(M)	+7%	+10%	▲21%	▲28%	▲27%	▲38%	▲19%	▲16%	▲3%	+15%
	(R)	+33%	+34%	+42%	▲9%	▲10%	▲15%	▲6%	▲8%	+12%	+3%
	(S)	+48%	+18%	+32%	▲1%	▲11%	▲1%	▲48%	▲27%	▲48%	▲40%

QoQ	(M)	+7%	▲2%	▲24%	▲10%	+9%	▲17%	▲0%	▲7%	+27%	▲2%
	(R)	+9%	▲4%	+8%	▲19%	+7%	▲9%	+19%	▲21%	+30%	▲16%
	(S)	+20%	+7%	+19%	▲35%	+8%	+19%	▲37%	▲9%	▲23%	+36%

為替レート	円/ドル	124.2	135.3	144.3	132.9	134.9	142.5	149.1	146.7	153.2	154.1
	円/ユーロ	134.3	139.3	143.9	142.0	146.1	155.7	159.3	159.4	165.5	167.6

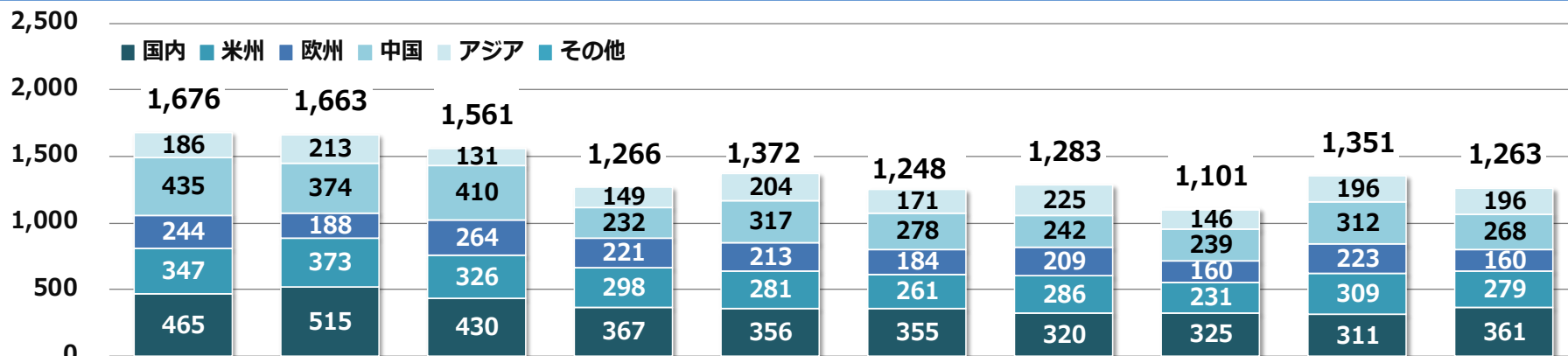
[注. 1] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

[注. 2] FY22のデータは、セグメント区分見直し前の数値を使用

# 四半期受注推移 (所在地別)

※為替は期中平均レートを使用

(億円)



		FY2022				FY2023				FY2024	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
Total	YoY	+21%	+21%	+9%	▲17%	▲18%	▲25%	▲18%	▲13%	▲1%	+1%
	QoQ	+10%	▲1%	▲6%	▲19%	+8%	▲9%	+3%	▲14%	+23%	▲7%
YoY	国内	+20%	+17%	▲15%	▲25%	▲23%	▲31%	▲26%	▲11%	▲13%	+2%
	米州	+45%	+48%	+27%	▲6%	▲19%	▲30%	▲12%	▲23%	+10%	+7%
	欧州	+6%	▲15%	+15%	▲13%	▲13%	▲2%	▲21%	▲28%	+5%	▲13%
	中国	+10%	+12%	+37%	▲28%	▲27%	▲26%	▲41%	+3%	▲1%	▲3%
	アジア	+34%	+64%	▲6%	▲2%	+10%	▲20%	+72%	▲2%	▲4%	+14%
QoQ	国内	▲5%	+11%	▲16%	▲15%	▲3%	▲0%	▲10%	+2%	▲5%	+16%
	米州	+10%	+8%	▲13%	▲9%	▲6%	▲7%	+10%	▲19%	+34%	▲10%
	欧州	▲4%	▲23%	+41%	▲16%	▲4%	▲13%	+14%	▲24%	+40%	▲28%
	中国	+35%	▲14%	+10%	▲43%	+37%	▲12%	▲13%	▲1%	+30%	▲14%
	アジア	+22%	+15%	▲39%	+14%	+37%	▲16%	+31%	▲35%	+34%	▲0%

[注] FY22のデータは、セグメント区分見直し前の数値を使用

**YASKAWA**